

あこし塾長の 子マのやる気 親の気づき

31

「電子黒板で変わった授業」という新聞報道がありました。子どもたちの関心や理解を高めるという触れ込みで、今年3月までに約5万台が全国の公立小中高校に配備されたという内容でした。文部省が大切な税金を投じて、一方で、ゆと

大学受験生の志願理由
書を指導していても、
将来のやりたいことが
決まらず、ここでもアフ
ターナラーニングが後を絶ち
ません。

は?」「やりたい仕事は?」に「決まっていません」と答える子には「今決める!」とわざと語氣を強めて迫ります。すると多くの子は、何も考えず何も準備してこなかった空っぽな自分に直面しきよじんとした表情をするばかりです。

「では、やりたい仕事は何歳で決まるの? 60歳かな?」と極端な例で聞いてみます。す

「うへん、確かに……」
とうなずきます。
私は、意欲は心であります。老化に關係なくいつまでも望むものですが、年齢が進むと身体が思うように動かなくなつて困難が増えていくのが現実ではないだらうかと考えさせ、「今、心と体、君は何がつらいの？」取りあえずやらない毎日のでは？ その繰り返しが癖になり、自分の体

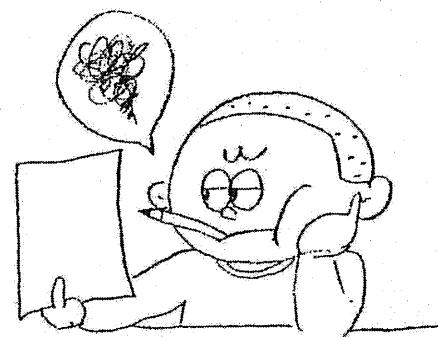
質を変化させていくの
ではないか。つまり想
像力の問題だと思うけ
ど」と話します。

最近の中高生と話し
ていて感じるのは、こ
ちらの話を一所懸命漏
らさず聞き取ろうとする
子が極端に減ってき
ていることです。後悔
の経験が未熟なため恐
れを知らないのかもしれません。
だから受験のラスト6ヶ月は、目標ど真切という約束を明確にし期限までにできなかった責任と後悔の経験を回避させず、改善点や再発防止を考える恵みを育てたいと意識しています。

確かに辞書もメモも携帯電話など一ト機器が便利な時代です。し

劇場用映像。テレビやパラメータ始めた3D用像。3D用通し、小学ズムを理解ントが、東京で3Dカメラ作するソニーに、4ヶ月命令。子どもは初步的なミラーゴーミ着者の解説木片と薄い立てた。人は、右

想像力を働かせる必要



by voriko

責任と後悔の経験も重要

では、夏休み中に終えるはずだった課題の〆切を「週末まで」「なんとか来週まで」と延長を願い出でては、その場をやり過ごし解決を先送りしています。

受験勉強では、面談を通して一人一人の目標とその力に応じた〆切を設定し日々取り組ませてきました。しかし、今年は9月に入つてもまだまだ気持ちは定まらないようです。

教
育

定められているのがリコールです。多くの住民が求めれば、首長や議員をやめさせることができます。

リコールを請求するには、まず署名を集める必要があります。選挙権を持つ人が40万人以下の自

す。問題がなければ、住民投票が行われ、過半数が賛成だと、首長は解職、議会は解散されます。そして、あるためて選挙になるのです。

阿久根市では、市長のやり方が強引だとして解職を求める人たちが、す

A black and white photograph capturing a moment of medical intervention. In the center, a person lies on a stretcher, their head turned back, possibly receiving first aid or resuscitation. A medical professional, dressed in a white coat and a surgical mask, is focused on the patient. To the left, another individual in a white shirt and tie stands by, while to the right, a woman in a dark dress looks on. The background is blurred, suggesting a hospital or emergency room setting. The overall atmosphere is one of concern and medical urgency.